

市議会だより おおだ

No.84

2026(令和8)年7月16日発行

表紙の写真

「変わらない記憶」(波根町)

大田高等学校 写真部

中田 夢叶さん

 6月定例会	2
 一般質問に12人	5
 申し入れ	11
 表彰、議長活動報告	12

6月定例市議会は、2026（令和8）年5月29日（金）～6月15日（月）までの会期で開催され、上程された議案について慎重に審議した結果、全議案とも可決しました。



（一般会計総額 279億8,194万円）



現在の大田小学校

大田統合小学校整備事業

11億595万円

大田統合小学校の整備に伴う経費



第二中学校と
破損したトイレ扉

校舎等施設改修事業

3,000万円

老朽化が進む大田市立第二中学校のトイレ改修

特別委員会の設置

新たに2つの特別委員会を設置しました

市議会では、よりよい市政の実現に向けて、専門的に調査・検討を行うため、新たに2つの特別委員会を設置しました。（◎は委員長、○は副委員長）

◆議会改革検討特別委員会（8名）

議員の成り手不足や議会の見える化など、議会として多くの課題を抱えている中、今後のあり方や時代に即した議会のあり方について継続して調査検討に取り組む。

◎小林 太

○高木 裕介

石田 洋治

福田 佳代子

胡摩田 弘孝

森山 幸太

根宜 和之

楢 龍夫

◆大田市地域活性化検討特別委員会（9名）

大田地域のにぎわい創出をはじめ、人口減少対策、市街地の活性化、公共施設整備、さらには周辺地域との連携など諸課題について、調査・検討し意見具申する。

◎松村 信之

○柿田 賢次

塩谷 裕志

和田 章一郎

宮脇 康郎

清水 好

伊藤 康浩

中村 学

河村 隆弘

6月定例市議会

一般会計
補正予算

補正額 **12億2,194万円**

主な補正内容



シェアオフィス等開設支援事業 9,314万円

大田市駅前周辺でシェアオフィスの開設等を実施する事業者に対し支援



消防団車両等更新整備事業 690万円

小型動力ポンプの更新(多根、烏井、祖式分団)

pickup picture



おおだの魅力再発見!



今月の表紙写真

大田高等学校写真部のみなさんに
表紙写真をご提供いただきました

表紙の他に提出いただいた作品



「今日の終わりに」(波根町)

地域の魅力や日常の一瞬を切り取った高校生ならではの感性あふれる作品を掲載しています。ご協力いただいた写真部のみなさんに心より感謝申し上げます。

市議会では、若い世代とのつながりを大切にしながら、より親しみやすく伝わる議会だよりづくりに取り組んでいます。ぜひ、表紙写真にもご注目ください。

議員提出議案

【全会一致・修正可決】

▼地方財政の充実・強化に関する意見書の提出について

大田市議会は、国に対し、2027年度政府予算及び地方財政の検討にあたって、物価高騰や賃金上昇に伴う行政コストの増大を的確に反映し、社会全体で求められている賃上げ基調と相応する人件費の確保をはじめ、一般財源総額のさらなる充実が図られる地方財政を実現するよう意見書を提出した。

◇ 6月定例会提出議案等賛否一覧表

議 案 名	議 員 名 等	議 決 結 果	賛 成	反 対	石 田 洋 治	河 村 隆 弘	高 木 裕 介	中 村 学	楯 龍 夫	伊 藤 康 浩	柿 田 賢 次	清 水 好	宮 脇 康 郎	和 田 章 一 郎	根 宜 和 之	森 山 幸 太	胡 摩 田 弘 孝	福 田 佳 代 子	松 村 信 之	小 林 太	塩 谷 裕 志	小 川 和 也
■市長提出議案																						
議案第3号 専決処分（大田市税条例の一部を改正する条例制定）の承認について	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第4号 専決処分（大田市都市計画税条例の一部を改正する条例制定）の承認について	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第5号 令和8年度大田市一般会計補正予算（第1号）	可決	15：2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	—
議案第6号 令和8年度大田市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）	可決	15：2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	●	○	○	○	○	—
議案第7号 令和8年度大田市国民健康保険診療所事業特別会計補正予算（第1号）	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第8号 令和8年度大田市病院事業会計補正予算（第1号）	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第9号 大田市市長及び副市長の給料の特例に関する条例制定について	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第10号 大田市人権センターの設置及び管理に関する条例制定について	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第11号 大田市税条例の一部を改正する条例制定について	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第12号 大田市地域振興を促進するための固定資産税の課税免除等に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第13号 大田市印鑑条例の一部を改正する条例制定について	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第14号 財産の取得について	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第15号 財産の取得について	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第16号 財産の取得について	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第17号 大田市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
■議員提出議案																						
意第1号 地方財政の充実・強化に関する意見書の提出について	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第18号 特別委員会の設置について	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
議案第19号 特別委員会の設置について	可決	17：0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—

※定数18名、うち議長（小川和也）は採決に加わりません
 ※○は賛成、●は反対等（反対、継続審査、態度保留等々）



▲傍聴席

お問い合わせ先…大田市議会事務局
 TEL：0854-83-8137

お聞き合わせ先…大田市議会事務局
 TEL：0854-83-8137

傍聴は、市政に関する状況や方針、地域の課題なども取り上げられる一般質問がおススメです。臨場感あふれる議場でのやりとりをぜひご覧ください。

地域や職場のグループで勉強会はいかがですか。授業の一環での見学もお待ちしております。

団体での傍聴は、事前に議会事務局までご連絡ください。

受付は議会事務局にて、氏名等のご記入をお願いします。

次の定例会の予定は9月です。市議会を身近に感じる良い機会です。

◇傍聴席は定員64人です。

議会を傍聴してみませんか

お気軽にどうぞ！



いっぱん質問

市政に対する一般質問は、6月3日、4日に行われ、12人の議員が執行部に対して質疑を行いました。質問と答弁の要旨は次のとおりです。掲載する質問事項は1人1議題とし、その他の質問項目があった場合は、質問項目のみを掲載しています。(詳しい内容は、ホームページ(<https://www.city.oda.lg.jp/>)、二次元コードで閲覧できますので、ぜひご覧ください。)また、大田市公式LINEでも情報発信をしています。

「静寂」(大森町) 大田高等学校 写真部 清水彩来さん



答弁 今後廃止する方針で、現在使用していない施設は約50施設で、令和6年度の維持管理費は年間約58万円。廃止施設は庁内で再利用の可否を確認し、見込めない場合は、民間活用を検討する。耐震性など安全性を勘案し、活用可能な施設は地域活性化

質問 公共施設適正化計画では、廃止・未利用となった施設がある。人口減少や少子高齢化が進む中、廃止公共施設を大田市の資産として捉え、地域コミュニティの維持、民間投資や関係人口の創出、若者チャレンジ、防災拠点などに活用できないか。
施設数、維持管理費、今後の方向性、問い合せ状況と活用に至らない理由を伺う。

**廃止公共施設の
有効活用は**

答弁 地域・民間での活用を検討

質問動画

こばやし ふとし 議員
小林 太

▶水仙会館(温泉津町上村)



化の観点から、地元や民間への移管を進める。安全性に問題がある施設や活用の見込みが立たない施設は、計画的に解体する。
活用例として、温泉津ふれあい館の民間売却、旧大屋保育園の地元譲与がある。活用に至らない主な理由は、規模、立地条件、地域との調整、耐震化等である。



市内建設業者の 活用方針は

答弁
市内事業者の活用を
進める



質問動画

しみず このみ 議員
清水 好



機動力は地域経済や雇用の維持、人材の観点からも大きな意義を有していると認識している。

これまでも建築工事や修繕工事においては、極力、市内業者の活用に努めている。小規模修繕や維持補修での見積依頼の拡充、施工の維持管理における連携の強化、災害時の応急対応にかかる協力体制の整備、地元で施工が可能な工法の検討など、取り組みを行っている。

今後も地元業界団体等の意見を聞きつつ、

市内建設業者は地域事情に精通し、施工後の維持管理や緊急対応においても大きな強みを持っており、人材育成の立場からも、優先して活用を進めていくことが重要だと考えるが、どのように活用していくか方針を伺う。

答弁

市内建設業者は平時のインフラ整備に加え、災害時の応急復旧など地域の安全・安心を支える不可欠な存在であり、地域実情への高い理解と施工後の維持管理、緊急対応の

ビスの質の向上を目指していく。



市内工事の様子

生成AI活用と 今後の方針は

答弁
業務効率化と研究を進める



質問動画

いとう やすひろ 議員
伊藤 康浩



しており、他自治体の事例を参考に研究を進め、研修の充実と庁内全体への定着を図る。

②生成AIやデジタル技術の適切な活用力を育み、地域課題の解決に主体的に取り組む学びを進めるとともに、今後は国の動向や先進事例を踏まえ、活用を検討する。

③書かない窓口、行かない窓口の導入に取り組んでおり、市民の皆様がサービスを円滑に利用できるよう、スマホ教室やLINE活用教室など、市民向け講座を実施してきた。今後も引き続き、こうした取り組みを進める。

また、デジタル人材の確保に向けて、市民向けや事業者向けの生成AIの活用を含めた様々な講座についても、関係部署と連携し、その実施について検討していく。

①生成AIを活用したアプリ開発に対する現在の認識と今後の方針②子どもたちの学びや不登校支援への活用③市民や職員を対象とした生成AI講座や企業等との連携によるデジタル人材育成について。

答弁

①本市では生成AIの活用を進め、議事録要約や文書作成などで業務効率化を推進している。バ

※バيبコーディングとは、従来の専門的なプログラミング知識や高度なITスキルがなくても、生成AIと対話しながらアプリを開発する手法のこと。

答弁 現行の総合計画・総合戦略は、今年度末で計画期間を終えるため、毎年度の検証・評価と併せ、施策の成果を総括している。

人口減少は全国的課題で、本市も若者や女性の転出超過、晩婚化・未婚化、出生数減少など厳しい局面にある。

駅周辺では過去5年間で中心市街

質問 第3次総合計画・第3期総合戦略の策定に当たり、人口目標と現状、出生数目標との乖離をどう総括するのか。大田市駅周辺の中心市街地をどう活性化し、民間参入の動きはあるのか。

また、総合計画の位置づけと、庁舎建設が総合計画・総合戦略に十分位置づけられていない点について所見を伺う。

総合計画の総括と駅周辺の活性化は

答弁 検証を踏まえ次期計画へつなげる



質問動画

わだ しょういちろう 議員
和田章一郎



地に9件、うち駅通りに3件の新規出店があり、潜在的ニーズはある。下水道等の環境整備、新庁舎子育て支援拠点、シェアオフィス支援、駅通りへの出店補助金上限額の引上げ等で後押しする。

総合計画は本市の最上位計画であり、庁舎整備は市民サービスと防災拠点機能を担う重要な事業と考えている。



▲大田市総合計画基本構想素案
将来像「明日も笑顔があふれるまち おおだ」

答弁 ①概算事業費は物価上昇分を見込んで84億9千万円、国際情勢の変化は資材価格等に影響を及ぼす可能性があり、物価上昇率を上回るリスクを認識している。実施設計を着実に進め、経済動向や国際情勢を注

質問 物価高騰で新庁舎整備費は80億円を超え市財政への影響を懸念する。当初の建設費から大幅に増えており、先行きへの不安が拭えない。

①原油価格の動向も不透明で、市が見込む物価上昇分の13億円を超過する可能性もあるが、その所見は。

②市長選挙の結果などからも建設に慎重な市民が一定数存在する。丁寧な説明が必要と考えるが、どのように取り組むか伺う。

物価高騰の中、新庁舎整備は

答弁 経済動向などを注視し、情報発信の強化に努める



質問動画

かじ たつ お 議員
梶 龍夫



視し積算の精度向上に努める。事業費の抑制についても、より費用対効果の高い仕様や工期短縮につながる施工方法なども検討したい。

②市財政への不安などから慎重な意見も伺っており、より丁寧な説明が必要である。庁舎の果たす役割や財源の見通し、積算の精度を高めることなどを示し、



ホームページやテレビ、SNS、チラシなど様々な広報手段を使って情報発信の強化に取り組む。

▶市役所庁舎

梶議員その他の質問項目

- ・高齢者が元気に暮らすための市の対策
- ・市民生活に直結する負担軽減

分散型新庁舎の検討は

答弁
集約方式によりDX化で
利便性向上を図る



質問動画

なかむら まなぶ
中村 学 議員



元年度からの検討を経て、令和4年度には、市長と市民の意見交換、民間委員による検討、議会からの意見を踏まえ、集約方式とする方針を固めた。

また、耐震性の確保や非常用発電設備、セキュリティ対策などの整備が必要となるため、これらを複数施設で整備する分庁舎方式は、集約方式に比べ、コスト面においても高くなる。

②「身近な地域での相談や手続き」については、既存のサービスと今後のDX化で利便性向上を図る。

住民票や戸籍謄本などの主な証明書は、令和7年度からオンライン申請サービスを開始している。また、コンビニ交付サービスを本年度中に導入予定である。

住民の利便性向上のため、DX化の進展を踏まえて取り組みを充実させる。

中村議員その他の質問項目
「こどもまんなかの環境」

質問

現在計画中の駅前の集中型市役所が、高齢化対策と人口減少の課題解決にどの程度、貢献するのか検討が必要だと考える。

課題解決策として、「地域密着型の分散型市役所」という形を、新たな整備のあり方として検討すべきではないか。以下、伺う。

①新庁舎における集中型と分散型の考え方について

②新庁舎建築による市民の課題解決について

答弁

新庁舎整備の目的は市民サービスの拠点機能強化であり、施策の優先順位は社会情勢や市民ニーズを的確に捉えながら総合的に判断している。

①新庁舎の整備方式については、令和

第三者機関による 残存耐用年数調査と 市民生活負担への対応は

答弁
現庁舎の再調査不要と
水道料金改定



質問動画

ふくだ かよこ
福田佳代子 議員



建物や設備の劣化を確認している。議会での判断も踏まえ再調査を行う必要はないと判断した。

②日本建築センターの資料に照らしても、築40～50年の建物で長寿命化の例はあるが、現市庁舎は既に中性化が鉄筋に達する箇所があり、市の判断を裏づけるとした。

③水道料金は県内でも高い水準だが、受水費軽減や一般会計からの繰出で負担軽減を図っており、事業継続には料金改定、国の支援が必要である。

④市は、過去の調査で中性化や雨漏り、設備劣化を確認済みで、一級建築士の資格を持つ職員が

質問

現庁舎の残存耐用年数を第三者機関で調査し、長寿命化の可能性や市民負担への影響を明らかにした上で、計画を見直すべきである。以下、伺う。

①建設費高騰への不安を踏まえ、現庁舎の残存耐用年数の再調査を行うべきではないか。

②日本建築センターの調査結果を、どう受け止めるのか。

③市は財政難であり、特に水道料金の引き上げによる市民の負担を踏まえ、事業の優先順位を見直し、新庁舎計画を再検討すべきではないか。

答弁

①市は、過去の調査で中性化や雨漏り、設備劣化を確認済みで、一級建築士の資格を持つ職員が

福田議員その他の質問項目

・大田市駅前通り線の改良工事
・川合小学校の大田小学校への統合案



令和4年度15名、5年度17名、6年度19名、7年度22名、8年度29名であ

答弁

① 一般事務職及び専門職の新規採用職員の推移については、

② 適正な人員を確保するための今後の取り組み

① 大田市職員の採用や退職などの職員数の推移

② 適正な人員を確保するための今後の取り組み

以下、伺う。

特に、自治体職員の不足は市役所単体の問題にとどまらず、住民の生活の質に直結する。行政的政策的役割をいかに維持していくかが、今後の地域経済の最大の鍵となっている。

特に、自治体職員の不足は市役所単体の問題にとどまらず、住民の生活の質に直結する。行政的政策的役割をいかに維持していくかが、今後の地域経済の最大の鍵となっている。

特に、自治体職員の不足は市役所単体の問題にとどまらず、住民の生活の質に直結する。行政的政策的役割をいかに維持していくかが、今後の地域経済の最大の鍵となっている。

質問

労働人口の絶対数が減る中、島根県内の自治体や企業では、一歩踏み込んだ対策への転換が急務となっている。

大田市職員の人員の確保は

答弁 先進的な事例を参考に、人材の確保に取り組む



質問動画

たかき ゆうすけ 議員
高木 裕介



また、他の自治体などの先進的な事例なども参考に、人材の確保に取り組んでいく。

大田市職員数の推移（一般事務及び専門職）

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8
採用者数	16	15	17	19	22	29
退職者数 (内60歳未満)	25 (19)	29 (17)	26 (21)	26 (13)	21 (19)	-
一般事務応募者数(第1回)	21	25	13	47	21	35
一般事務応募者数(第2回)	12	24	32	35	23	-

② 近年、公共・民間を問わず人手不足が続いており、本市においても、人員確保に苦慮している。昨年度からは新たにインターネットによる応募受付をはじめ、民間事業者のノウハウを活用し、市ホームページ内

教職員の時間外労働の現状と対策は

答弁 働き方改革プランで長時間勤務を是正する



質問動画

かきだ けんじ 議員
柿田 賢次



答弁

市教職員の時間外労働の現状は、小学校で令和3年度が35・6時間、令和6年度が28・9時間、中学校では令和3年度が50・4時間、令和6年度が42・9時間となっている。一定の改善がみられるものの、依然として長時間勤務の状況が続いており、特に中学校における部活動指

導等の負担が大きな課題となっている。

全国的な教員の成り手不足、離職率の高まり等を背景に、文部科学省は昨年、時間外勤務の上限を定める等の「働き方改革のための計画」策定を、地方自治体に義務付けた。市でもこの間「学校業務改善プラン」を策定し、取り組みを進めているが、市の教職員の時間外労働の現状と対策について伺う。

質問

全国的な教員の成り手不足、離職率の高まり等を背景に、文部科学省は昨年、時間外勤務の上限を定める等の「働き方改革のための計画」策定を、地方自治体に義務付けた。市でもこの間「学校業務改善プラン」を策定し、取り組みを進めているが、市の教職員の時間外労働の現状と対策について伺う。

市教職員の時間外労働の現状は、小学校で令和3年度が35・6時間、令和6年度が28・9時間、中学校では令和3年度が50・4時間、令和6年度が42・9時間となっている。一定の改善がみられるものの、依然として長時間勤務の状況が続いており、特に中学校における部活動指



▲授業風景

こうした状況を踏まえ、令和7年度末に新たに策定した働き方改革プランでは、全ての教職員が年間360時間以内、月45時間以内という目標を掲げ、長時間労働の是正や業務の効率化、適正化等を柱とした持続可能な学校運営の実現を目指す考えである。

物価高騰から、暮らしと営業を守るための支援を

様々な状況を注視しながら、適切に対応をしていく



質問動画

みやわき やすろう
宮脇 康郎 議員



況に応じた支援を実施してきたが、今後も国、県の対策を注視し、現場の状況に応じた必要な対策に努める。

建設分野については、原油やナフサの供給不足の影響による出荷制限や受注停止、樹脂系商品の値上げを確認している。福祉分野については、車の燃料費の負担が増加している等の影響が出ている。市としても危機感をもって状況を注視している。

質問

長引く物価高騰に加え、アメリカのイラン攻撃を端にして石油関連商品、資材等の供給が不安定化し、市民の暮らしと営業を守るために市政の役割は大きくなっている。一次産業、建設業、福祉分野における影響をどう認識しているか。あらためて調査と対策が必要と考えるが、所見を伺う。

答弁

資材価格や輸送コストの上昇による物価高騰、資材の調達に影響が及び、地域経済全体への波及を懸念し、関連団体への聞き取り調査もしている。

農業などの一次産業については、これまで国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、畜産農家への飼料価格高騰対策をはじめ、状

宮脇議員その他の質問項目

・高すぎる国民健康保険料の引き下げ



道路の管理体制は

国・県・市とも定期的に巡回パトロールし適切に対応する



質問動画

かわむら たかひろ
河村 隆弘 議員



る。

道路異状が発生した場合は各管理者へ連絡するが、市土木課が窓口となり案内や連絡の取り次ぎも行っている。夜間や休日にも緊急対応体制を整えている。日常点検は市の道路パトロールや市民からの通報、郵便局や企業との連携により実施し、国や県も定期的に巡回している。

また、橋梁やトンネルなどは5年ごとの法定点検を行い、長寿命化計画に基づき計画的な修繕・更新を進めている。

質問

近年、市内では道路施設の老朽化や沿道樹木の繁茂により、通行安全や生活環境への影響が懸念されている。道路異状の通報後、対応状況が見えにくいとの声も寄せられている。出水期を迎える中、市民への周知も含め、市内道路の種類と管理者、道路付属設備の管理体制、道路の損傷や陥没、倒木、落石などが発生した際の道路種別ごとの連絡先や連絡体制、各道路管理者による日常巡回や定期点検の実施状況など、道路維持管理の現状と今後の取り組みについて伺う。

答弁

市内の道路は、国道9号・山陰道は国、国道375号と県道は島根県、市道・林道は大田市、農道は市や土地改良区などが管理してい



▲巡回パトロールのイメージ

①自治会館等は各自治会が設置管理しているため、市は全ての施設数や照

あると認識している。

答弁

自治会館・集会所は地域コ

ミュニティを支える重要施設で

早急に創設する考えはないか。

②自治会館等のLED照明導入に

特化した大田市独自の補助制度を

創設する考えはないか。

③本市における自治会館等の照明

LED化の進捗状況、特に小規模

自治会の現状をどのように把握し

ているか。

④本市における自治会館等の照明

LED化の進捗状況、特に小規模

自治会の現状をどのように把握し

ているか。

質問

2027年末までに蛍光

灯の製造・輸出入が終了す

るため、LED化は不可避な課題で

ある。自治会館等のLED化には、

1世帯あたりの負担増が見込まれ

る。以下、伺う。

①本市における自治会館等の照明

LED化の進捗状況、特に小規模

自治会の現状をどのように把握し

ているか。

②自治会館等のLED照明導入に

特化した大田市独自の補助制度を

創設する考えはないか。

③本市における自治会館等の照明

LED化の進捗状況、特に小規模

自治会の現状をどのように把握し

ているか。

自治会館等 照明のLED化 市独自の支援は

答弁

必要に応じて支援制度の
あり方を研究する



質問動画

ね ぎ かすゆき
根宜 和之 議員



明設備の状況を把握できていない。現時点では、全416自治会を対象とした調査は、自治会と市双方の事務負担を考慮し、実施の予定はない。

②現時点でLED化に特化した新たな支援制度の創設や現行制度の拡充は予定していない。既存制度(自治会集会所建設修繕事業のLED化を目的とした活用実績はない。新たな支援制度の創設には、多額の財源確保が必要となる。他の自治体の動向を注視し、必要に応じて支援制度のあり方を研究する。

LED照明



根宜議員その他の質問項目

・部活動の地域展開

不適切な事務処理にかかる申し入れ

大田市において発生した補助事業に係る不適切事務及び事務費執行に係る不適切な事務処理事案について、6月15日、大田市長に対し申し入れを行いました。



申し入れの主な内容

1. 原因究明及び検証
原因について、組織体質、チェック機能、管理監督責任を含め、徹底的に検証しその結果を明らかにすること。
2. 再発防止策の構築
事務手続きの見直しと内部チェック体制の強化を図り、実効性のある再発防止策を講じること。
3. 職員研修の実施
全職員に対し、公金の適正執行及び公務員倫理に関する研修を実施し、法令順守の意識の徹底を図ること。

市民の信頼を回復し、透明性の高い市政運営を実現するため、議会として今後も必要な対応を求めています。

大田市議会

YouTube 公式チャンネル

大田市公式LINE

ご覧ください



大田市議会
YouTube
公式チャンネル



大田市
公式LINE

大田市議会YouTube
公式チャンネルや大田市
公式LINEにて、市議会
に関する情報を発信して
います。

みてね





写真で見る議会日誌

永年勤続議員表彰

全国市議会議長会及び中国市議会議長会より、永年の地方自治に貢献した功績により表彰されました。6月定例会の初日に本会議場において、表彰状の伝達を行いました。



全国市議会議長会表彰

小林 太 (議員20年以上特別表彰)

松村 信之 (議員20年以上特別表彰)

中国市議会議長会表彰

石橋 秀利 (議員36年以上特別表彰)

月森 和弘 (議員24年以上特別表彰)

小林 太 (議員20年以上特別表彰)

松村 信之 (議員20年以上特別表彰)

小川 和也 (議員16年以上特別表彰)

胡摩田 弘孝 (議員12年以上特別表彰)

森山 幸太 (議員12年以上特別表彰)

根宜 和之 (議員8年以上普通表彰)

大田市重点要望

(5/18島根県庁、6/30中国地方整備局、7/9松江国道事務所)



6/20

近畿大田市人会



多根神楽団による石見神楽・池田地区田植え囃子の皆さんも参加されました。

6/24

今井書店大田店 オープニングセレモニー



編集後記

市議会だよりを手に取っていただきありがとうございます。前号より企業版ふるさと納税を活用し、全ページのカラー化を進めています。

今号は、表紙などに大田高校写真部の協力を得て、高校生が撮影した写真を掲載しています。若者ならではの視点で撮影された地域や日常の魅力を掲載することで、親しみやすい広報誌づくりをめざしていきます。

暑い夏がやってきます。年々、日常会話に異常気象、気候変動が入り込むようになりました。熱中症のリスクも高まりますので、エアコンの適切な使用やこまめな水分補給と休息を心がけましょう。(宮脇康郎)

広報広聴委員会

委員長	石田 洋治
副委員長	宮脇 康郎
委員	和田 章一郎
委員	清水 好
委員	中村 学
委員	高木 裕介
委員	河村 隆弘